

平成18年2月27日

長野県教育委員会  
高校教育課長 吉江 速人 様

長野県野沢南高等学校生徒会  
会長 佐々木 史也

### 高校改革プランについての質問に対する回答への意見書

12月22日に本校生徒会が提出した質問状に対する回答をいただきました。年末のお忙しい時期にもかかわらず、期日までに回答を下さりありがとうございました。

回答を検討させていただき、本校生徒会として納得のいかない点や不審な点を多々感じましたので、意見書として提出いたします。

私たちは、高校改革プランに関する当事者として、また一高校生として、高校改革プランについて真剣に考え、校内で意見を交わし、勉強会を開き、他校との交流や、与えられた場での意見の表明などを行い、この問題について私たちなりに精一杯理解し意見を持つと努力してきました。12月9日には要望書を提出し、意見を交換する時間がありませんでしたので、質問状という形で、私たちの疑問に思っていることやお聞きしたいことを素直に表明しました。しかし、いただいた回答書の内容は、生徒会として到底納得できるものではありません。

まず、回答全体が曖昧な部分が多く、具体性に欠け、良く理解できません。

例をあげると、質問7についてですが、「高校生の意見もかなりお聞きできているものと考えています。」と回答されていますが、私たちは自分たちの意見を聞き届けてもらっていると感ずることができません。12月9日以降の推進委員会を傍聴させていただきましたが、私たちが「要望書」の形で提出した意見が会議に全く反映されておりません。多くの生徒が「私たちの思いが届いていない。」と言っています。

他にも質問6について、「必要があれば改修等を行っていく」とありますが、教育委員会の方は本校を視察していないと思いますので、きちんと校舎等を見てから改修が必要かどうか言ってほしいと思います。クラブ活動に関する質問の回答でも、「工夫していくことでクラブの練習時間等十分確保できる」とのお答えですが、時間があっても三部制なので、部員が集まらないのではないかと、そうすると施設と時間があっても、十分満足のいくクラブ活動ができないのではないかと、私たちは心配しています。

多部制・単位制のメリットについては説明され、回答されていますが、デメリットについては全く説明されていないので、教育委員会は説明責任を果たしていないと思います。

1月に発表された中学生に対する志望校調査を見ても、本校の志願者は昨年度に比べると、大幅に減少しています。これは中学生が進路選択に当たり、本校に入学することを不安に思い、ためらっているからだと思われています。「要望書」にも書きましたが、中学生に向けても、「たたき台」だから説明しないのではなく、「高校再編整備案」について中学生にもわかるような、納得のいく説明をしてほしいと考えます。

現在本校では、1月9日に第二通学区推進委員会で、多数決によって本校への多部制・単位制の導入が決まったことによって、生徒全体に不安や動揺が広がっています。推進委員会があのような手法を採ったことは、生徒会としてとても残念に思います。

最後に、回答についてはもっと誠意のある、わかりやすく、納得のいくものをいただきましたかと思えます。

以上、意見書として提出します。